

◆中山校区の現状

広大な農地と三河湾を遠望する海岸を有する中山校区は、田原市の中では比較的人口の多い「中山」と「小中山」の2地区で構成されています。主産業は両地区で盛んな農業と小中山地区を中心に営まれる漁業で、どちらも時代の進化とともに発展してきました。

しかし、近年は人口減少に加え、就業者の高齢化や、社会構造の変化に伴う後継者不足などの影響を受け、これまでの規模を維持することが難しくなってきました。

こうした中、中山校区では、あらためて地域の良さを知ってもらい、少しでも多くの人が地域への「愛着」を持つてよう、さまざまな取り組みを行っています。

◆4月の恒例行事「さくらまつり」

毎年4月、小中山児童公園で、さくらまつりが行われています。今年も満開の桜には恵まれたものの、あいにくの雨模様となってしまうかもしれません。それでも、当日は多くの人々が訪れ、雨の滴がしたたる満開の桜を眺



めたり、出展ブースでの買い物を楽しんだりしていました。

小中山児童公園付近には、貴重な戦争の遺構である伊良湖射撃場や、昔から人々に親しまれてきた田戸神社など、校区の主要スポットが集まっています。さくらまつりは、地域の人々が、年に一度咲き誇る公園の桜を楽しむにここに集い、あらためて校区の魅力を実感できる良い機会となっているほか、交流を深める場としても有効に活用されています。

たはらサンドアートフェスティバル
(平成29年度田原市市民協働まちづくり事業補助金採択事業)

田原市ふる

さと大使の金田哲です！この夏、実行委員の一員として



行うイベントをご紹介します。

たはらサンドアートフェスティバルは、障害のある子どもたちに、チームで造るサンドアートやサーフィンを通じて、砂という資源の尊さや自然の素晴らしさを肌感じて楽しんでもらうイベントです。

このイベントは委員長の2つの思いが込められています。1つは、障害のある子どもたちが社会との交流を図り、いきいきと活躍できる場を創り出すことです。サンドアートを通じて、団体で行動することの大切さ、みんなで1つの物事を成し遂げる達成感を感じてもらいたいです。

もう1つは、障害のある方に対する偏見のないノーマライゼーション

の地域づくりをしていきたいという思いです。笑顔が絶えない時間を生み出し、障害のある方やご家族への理解を深め、差別がなく住みやすい地域社会になってほしいと思っています。

当日は、親子で楽しめるサンドアート体験教室や彫刻家の保坂俊彦さんによる指導や審査で、一歩進んだ砂遊びを体験できます。サーフィン体験や宝探し、お菓子投げなど、イベント盛りだくさん！今年の夏は僕と一緒にたはらサンドアートフェスティバルで盛り上がりましょう！

【日時】7月16日(日)午前9時〜

【場所】赤羽根西海岸(□□パーク)

【問い合わせ】たはらサンドアート

フェスティバル実行委員会 林智也

✉tahara.sandart@gmail.com

🌐<http://www.openmind-project.org>

※詳しくは、HPをご覧ください。

田原市民活動支援センター

1001001

✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp